

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	ネオ・カラーA特別色（ダークグレー）
会社名	三ツ星ベルト株式会社
住所	神戸市長田区浜添通4丁目1-21
電話番号	078-685-5771
整理番号	T-016
推奨用途及び使用上の制限	建築用塗料

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性

引火性液体	分類できない
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	区分外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分外

皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分2
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1
吸収性呼吸器有害性	区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分3
水生環境慢性有害性	区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険有害性情報:

危険  
軽度の皮膚刺激  
発がんのおそれの疑い  
水生生物に有害  
長期的影響により水生生物に有害  
呼吸器の刺激のおそれ  
長期又は反復暴露による臓器の障害  
長期にわたる、または、反復暴露により臓器(肺)を損傷  
【予防策】

注意書き:

使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【対応】

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。  
 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。  
 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、国際/国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄すること

GHS分類に該当しない  
 他の危険有害性

有害性: 知見なし  
 環境影響: 知見なし  
 物理的及び化学的危険性: 通常の取扱いでは、火災の危険性は低い。  
 重要な徴候: 特になし  
 想定される非常事態の概要: 特になし  
 国/地域情報: 分類基準に該当しない

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分: 混合物  
 化学名又は一般名: アクリル樹脂系エマルジョンペイント  
 化学式: <酸化チタン(IV)> TiO<sub>2</sub>  
 <カーボンブラック> C

濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	略号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No
			化審法	安衛法	
酸化チタン(IV)	—	1 ~ 10%	—	—	13463-67-7
カーボンブラック	—	1 ~ 5%	—	—	1333-86-4

法規制対象成分:

成分	安衛法	PRTR 法
酸化チタン(IV)	通知対象物	指定化学物質に該当しない
カーボンブラック	通知対象物	指定化学物質に該当しない

GHS 分類に寄与する不純物及び安定添加物: 特になし

4. 応急処置

吸入した場合: 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 付着物を布にて素早く拭き取る。  
 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

目に入った場合:	外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。 汚染された衣類を取り除くこと。 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
飲み込んだ場合:	直ちに、医師に連絡すること。 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
最も重要な徴候及び症状: 応急措置をする者の保護:	特になし 適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。
医師に対する特別な注意事項:	特になし

---

## 5. 火災時の措置

消火剤:	全ての消火剤
使ってはならない消化剤:	特になし
特有の危険有害性:	特になし
特有の消火方法:	周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火を行う者の保護:	適切な保護具を使用する

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項: 封じ込め及び浄化の方法・機材:	河川への排出により、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。 水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。
二次災害の防止策:	特になし

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策:	換気のよい場所で取り扱う。 容器はその都度密栓する。 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。 取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
局所排気・全体排気: 注意事項: 安全取扱い注意事項:	特になし 特になし 特になし
保管 技術的対策:	日光の直射を避ける。 通風のよいところに保管する。

保管条件: 特になし  
安全な容器包装材料: 適切な容器包装材料

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策: 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。  
腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をすること。  
管理濃度: 設定されていない  
許容濃度:

酸化チタン(IV)	10mg/m <sup>3</sup>	TWA	ACGIH
カーボンブラック	3.5mg/m <sup>3</sup>	TWA	ACGIH

### 保護具

呼吸器の保護具: 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。  
手の保護具: 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。  
眼の保護具: 取扱いには保護メガネを着用すること。  
皮膚及び身体の保護具: 取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。  
適切な衛生対策: 特になし

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など: 液体  
色: ダークグレー  
臭い: 僅かアクリル臭  
pH: 9 ~ 10  
融点・凝固点: 該当しない  
沸点: 100°C  
初留点: 該当しない  
沸騰範囲: 該当しない  
引火点: 該当しない  
自然発火温度(発火点): 該当しない  
燃焼性(固体、ガス): 該当しない  
燃焼又は爆発範囲(下限): 該当しない  
燃焼又は爆発範囲(上限): 該当しない  
蒸気圧: 該当しない  
蒸気密度: 該当しない  
蒸発速度: 該当しない  
比重(相対密度): 1.3g/cm<sup>3</sup>  
溶解性: 該当しない  
オクタノール/水分配係数: 該当しない  
分解温度: 該当しない  
その他のデータ: 特になし

## 10. 安定性及び反応性

安定性: 保管の項目記載の保管条件で安定  
危険有害反応可能性: 特になし  
避けるべき条件: 特になし  
混触危険物質: 特になし  
危険有害な分解生成物: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性:

酸化チタン(IV)	>10,000mg/kg	経口ラット(LD50)	IUCLID
酸化チタン(IV)	>10,000mg/kg		IUCLID
酸化チタン(IV)	>6.82mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	IUCLID
カーボンブラック	15,400mg/kg	経口ラット(LD50)	RTECS

皮膚腐食性/刺激性:

【酸化チタン(IV)】

ウサギの試験で slightly irritating, 及び not irritating (IUCLID (2000)) の記載より区分外とした。

【カーボンブラック】

分類できない。データ不足。

眼に対する重篤な損傷/刺激性:

【酸化チタン(IV)】

ウサギの試験で mild (IUCLID (2000)) との記載より区分2Bとした。

【カーボンブラック】

分類できない。データ不足。

呼吸器感作性/皮膚感作性:

【酸化チタン(IV)】

呼吸器感作性: データがなく分類できない。皮膚感作性: ヒト、パッチテストで陰性 (IUCLID (2000)) の記載より区分外とした。

【カーボンブラック】

呼吸器感作性: 分類できない。データなし。皮膚感作性: 分類できない。データなし。

変異原性(生殖細胞変異原性):

【酸化チタン(IV)】

マウス小核試験で陰性、及びマウス染色体異常試験で陰性 (NTPDB (2005)) の記載より区分外とした。

【カーボンブラック】

分類できない。体細胞 in vivo 遺伝毒性試験 (ラット肺胞細胞の DNA 付加体形成試験およびラット肺胞細胞 hprt mutation 試験) でそれぞれ陽性結果 (DFGOT vol.18(2002)) があるが、in vitro 変異原性試験にて明確に陽性が出ているデータはみあたらない。

発がん性:

【酸化チタン(IV)】

IARC でグループ 3、ACGIH で A4 に分類されていることより区分外とした。

【カーボンブラック】

区分 2。IARC 分類 2B および日本産業衛生学会第 2 群 B に基づく。

生殖毒性:

【酸化チタン(IV)】

データがなく分類できない。

【カーボンブラック】

データなし。

特定標的臓器/全身毒性—

単回暴露:

【酸化チタン(IV)】

ヒュームは気道を刺激する (HSDB (2005)) の記載より区分 3 (気道刺激性) に分類した。

【カーボンブラック】

データなし。

特定標的臓器/全身毒性—

反復暴露:

【酸化チタン(IV)】

20 年以上職業暴露している労働者の極くわずかであるが、肺機能の変化は伴わないが、X 線検査で塵肺症変化が明らかになった (DFGOT vol.2 (1991)) の記載より区分 1 (肺: 吸入) に分類した。

【カーボンブラック】

吸引性呼吸器有害性:

区分 1。ヒトのじん肺症 (DFGOTvol.18 (2002))、及びラット吸入試験でガイダンス値区分 1 の範囲で肺への影響 (上皮の過形成、化生、肺線維症、肺胞細胞の増殖等) (DFGOTvol.18 (2002)) に基づき区分 1 に分類される。

【酸化チタン (IV)】

データがなく分類できない

【カーボンブラック】

分類できない。データなし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:			
データなし			
甲殻類:			
酸化チタン (IV)	>1000000 $\mu$ g/L(48H)	オオミジンコ	AQUIRE
カーボンブラック	>5600mg/l-24hr	オオミジンコ	IUCLID
藻類:			
データなし			

残留性・分解性:

【酸化チタン (IV)】

水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されていないが、金属化合物であり水中での挙動が不明であるため、区分 4 とした。

【カーボンブラック】

難水溶性で水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されておらず、水中での挙動および生物蓄積性も不明であるため、分類できない。

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

データなし

他の有害影響:

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約 (マニフェスト) をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

## 14. 輸送上の注意

国際規則

国連分類:

分類基準に該当しない

国連番号:

品名 (国連輸送品名):

容器等級:

海洋汚染物質:

国内規制:

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

特別の安全対策:	(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。
輸送の特定の安全対策及び条件:	(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。 (航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号:	特になし 特になし なし

---

## 15. 適用法令

特になし

---

## 16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先:	三ツ星ベルト株式会社 建設資材事業部 技術・生産部 電話 078-682-3379
参考文献:	日本塗料工業会編集「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」 NITE 化学物質総合情報システム 原材料 MSDS

### 記載内容の取り扱い

本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の実施を前提としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はMSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。